

**ABC  
MART**  
www.abc-mart.com

# IR-REPORT

証券コード: 2670

## 第25期中間 事業のご報告

2009年3月1日~2009年8月31日





代表取締役社長  
野口 実

「現場パワー」に集積させて成長を維持し、国内No.1のシューズ専門店チェーンを目指します。

売場最優先で、すべての力を

**Q1** 第25期上期の業績についてお聞かせください。

**A** 2010年2月期の上期は、消費者の生活防衛意識の高まりによる影響で消費環境は厳しいものでありました。こうした状況の中、ABCマートグループは積極的な出店を行い、国内については年間計画55店舗の半数を超える41店舗、子会社が展開する韓国でも半期で10店舗の新規出店を行いました。販売政策では、レディースシューズでの廉価帯商品の打ち出しと2,990円のスニーカーなどお買い得感を前面に出した販売戦略を進め、消費者の購買意欲の喚起と新規顧客の獲得に注力してまいりました。

その結果、上期においては、連結売上高は、前期比11.4%増の546億55百万円、営業利益は6.2%増の120億11百万円、経常利益は13.0%増の125億21百万円、純利益は12.7%増の70億14百万円となり、2桁成長を継続することができました。

**Q2** 下期の販売戦略についてもお聞かせください。

**A** 下期の販売戦略としては、伸長が著しいレディースシューズは、美脚をテーマに「ヒールスニーカー」と「インヒールブーツ」を軸にファッション性と履き心地を重視した戦略を展開します。また、今春に本革を使用したヒールスニーカーの廉価帯商品が大きく売上を伸ばした実績を踏まえ、9月より戦略的価格設定をした「リアル・レザー」シリーズの発売を始めました。このシリーズは、当社の長年にわたる海外生産で蓄積したノウハウをフルに活用

し、本革を使用しながらも3,990円から5,990円と値ごろ感のある価格を実現しました。今後は、レディース、ビジネス、ウォーキングと様々なカテゴリーで商品展開をまいります。

出店については、70店舗を見込んでおります。商業施設間の競争が激化するなか、施設のリニューアルに伴う出店要請が増えております。この機を逃さずに投資を行うことで、今後の成長をより確実なものにしていきたいと考えております。

**Q3** 海外への出店についてお聞かせください。

**A** 海外事業の2カ国目として、10月に台湾、台北市の西門（シーメン）地区に「ABC-MART」をオープンしました。台湾は、日本のファッショントレンドへの関心が高く、日本のファッション誌も多数流通しており、親和性が高いマーケットであります。

また、韓国ソウル特別市の明洞（ミョンドン）エリアにも9月に3号店をオープンしました。明洞エリアはグローバルブランドも旗艦店を構える韓国随一の繁華街であり、単一ブランドショップがほとんどの韓国において、「ABC-MART」はグローバルブランドのスニーカーを一箇所に集めたマルチブランド・ショップとして、若者を中心として高い支持を集めております。

この2地域での出店により、海外での店舗運営ノウハウ、ファッション嗜好の相違を学び、アジア地域での更なる展開を目指してまいります。



▲台湾第一号店

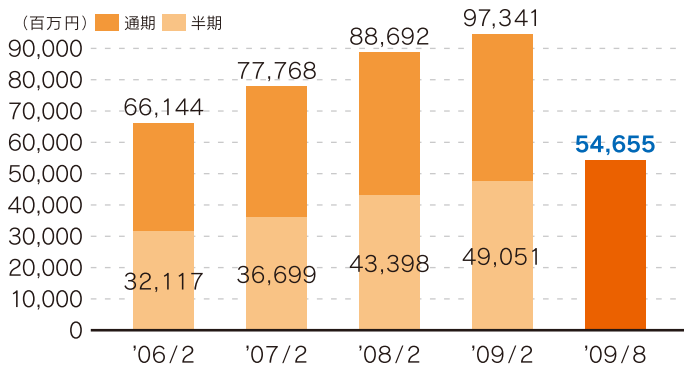
**Q4** 株主、投資家の皆様へのメッセージをお願いします。

**A** ABCマートは、2004年2月期以来（半期決算も含め）増収増益の記録を更新し、成長を続けております。当期は創業30周年の節目の年ですが、連結売上高で1,000億円、国内で500店舗を達成する見通しであります。足元の景況感は依然厳しい状況にありますが、社員育成と販売力の強化と共に、自社商品の開発、店舗開発、また海外への新たな事業展開に注力し、新たな目標に向けてまい進してまいります。

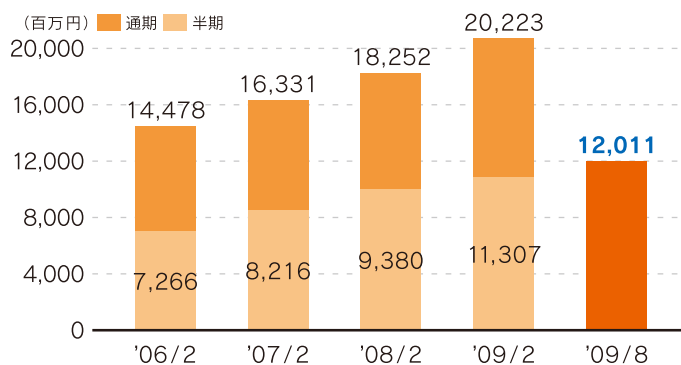
株主、投資家の皆様には、引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# 連結業績ハイライト

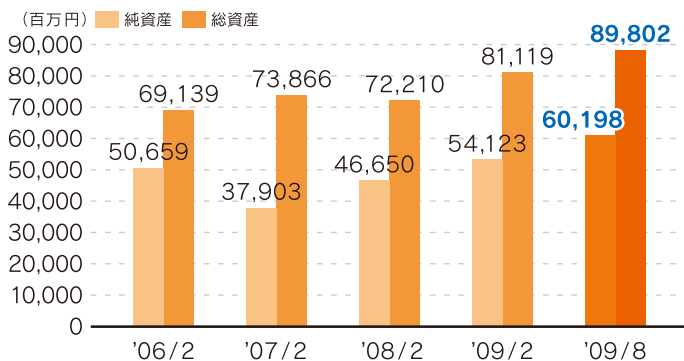
## 売上高



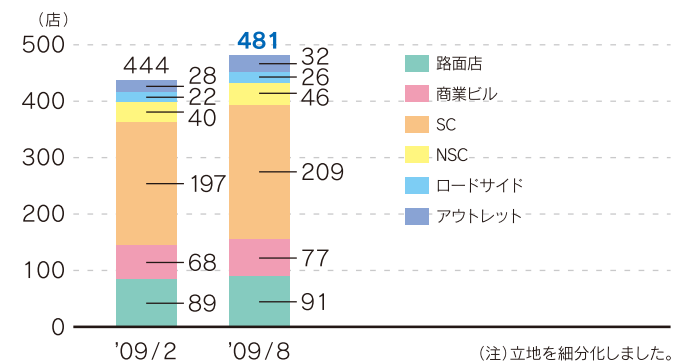
## 営業利益



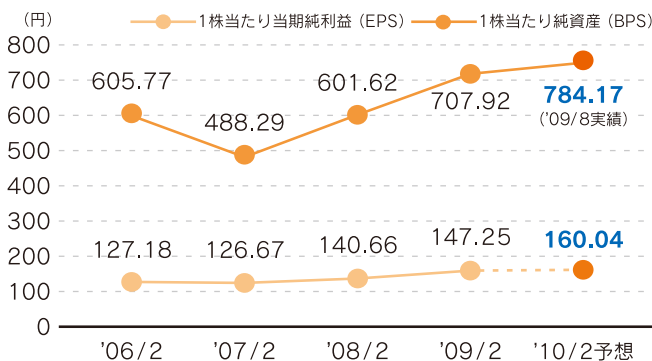
## 純資産・総資産



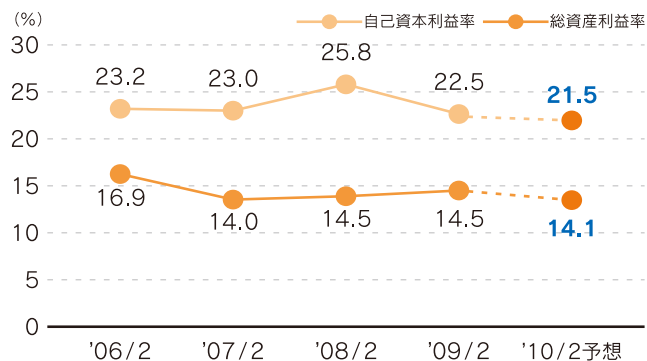
## 国内店舗数の推移(業態別)



## 1株当たり当期純利益 (EPS)・1株当たり純資産 (BPS)



## 自己資本利益率 (ROE)・総資産利益率 (ROA)



# 連結財務諸表

(百万円未満は切り捨てて表示しております)

## 連結貸借対照表

(単位:百万円)	当第2四半期末 2009年8月31日 現在	前第2四半期末 2008年8月31日 現在	2009年2月期末 (要約)
<b>資産の部</b>			
<b>流動資産</b>	38,589	38,401	40,384
現金及び預金	15,962	18,767	21,654
受取手形及び売掛金	2,015	1,906	1,553
商品	17,344	13,772	14,428(注)
繰延税金資産	726	—	715
その他	2,540	3,955	2,034
貸倒引当金	△0	△1	△0
<b>固定資産</b>	51,213	38,884	40,734
有形固定資産	30,280	25,744	27,599
建物及び構築物	7,978	7,261	7,755
土地	17,228	17,487	17,202
その他	5,073	996	2,641
無形固定資産	742	765	808
投資その他の資産	20,190	12,373	12,326
敷金保証金	11,886	10,817	10,939
関係会社株式	7,011	—	—
その他	1,291	1,596	1,387
貸倒引当金	—	△41	—
<b>資産合計</b>	<b>89,802</b>	<b>77,285</b>	<b>81,119</b>

(単位:百万円)	当第2四半期末 2009年8月31日 現在	前第2四半期末 2008年8月31日 現在	2009年2月期末 (要約)
<b>負債及び純資産の部</b>			
<b>流動負債</b>	24,206	25,745	26,606
支払手形及び買掛金	7,192	8,251	8,900
短期借入金	8,677	9,352	8,685
未払法人税等	5,199	4,970	4,747
賞与引当金	484	406	425
その他	2,652	2,763	3,846
<b>固定負債</b>	5,397	358	390
<b>負債合計</b>	<b>29,604</b>	<b>26,103</b>	<b>26,996</b>
<b>株主資本</b>	59,544	50,079	53,810
資本金	3,482	3,482	3,482
資本剰余金	7,488	7,488	7,488
利益剰余金	70,891	61,426	65,157
自己株式	△22,318	△22,318	△22,318
<b>評価・換算差額等</b>	△500	△182	△507
<b>少数株主持分</b>	1,154	1,284	820
<b>純資産合計</b>	<b>60,198</b>	<b>51,181</b>	<b>54,123</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>89,802</b>	<b>77,285</b>	<b>81,119</b>

### ポイント解説

#### ● 連結貸借対照表関係

- \*資産合計が前期末から86億83百万円増加しております。
- \*この主な増減要因は、商品在庫の増加29億31百万円と、株式会社ユニテッドアローズの株式取得に伴う関係会社株式の増加70億11百万円、出店・改装による投資での建設仮勘定が22億12百万円増加したことによるものです。

(注) 2009年2月期末の商品には、貯蔵品15百万円が含まれております。

#### ● 連結キャッシュ・フロー関係

- \*当第2四半期末の現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べ55億18百万円減少し、159億28百万円となりました。
- \*この主な増減要因は、営業活動が、税金等調整前当期純利益が124億19百万円、たな卸資産の増加で28億94百万円、法人税等の支払で46億61百万円となりました。投資活動が、関係会社株式の取得で68億32百万円、新規出店や改装に関わる有形固定資産の取得で40億71百万円、敷金保証金の差入で10億82百万円の支出となっております。財務活動が、長期借入により50億円の収入となっております。

## 連結損益計算書

(単位:百万円)	当第2四半期 自 2009年3月1日 至 2009年8月31日	前第2四半期 自 2008年3月1日 至 2008年8月31日	2009年2月期 (要約)
<b>売上高</b>	54,655	49,051	97,341
売上原価	23,425	21,248	42,667
売上総利益	31,229	27,803	54,673
販売費及び一般管理費	19,218	16,495	34,449
広告宣伝費	2,125	1,894	4,466
人件費	6,974	5,844	12,058
地代家賃	5,053	4,193	8,631
減価償却費	894	715	1,543
その他	4,171	3,847	7,750
<b>営業利益</b>	12,011	11,307	20,223
営業外収益	688	404	785
営業外費用	178	629	1,398
<b>経常利益</b>	12,521	11,082	19,610
特別利益	—	155	154
特別損失	102	126	278
税金等調整前当期純利益	12,419	11,111	19,486
法人税、住民税及び事業税	5,101	4,733	8,659
法人税等調整額	△0	—	△273
少数株主利益	303	151	13
<b>当期純利益</b>	7,014	6,226	11,087

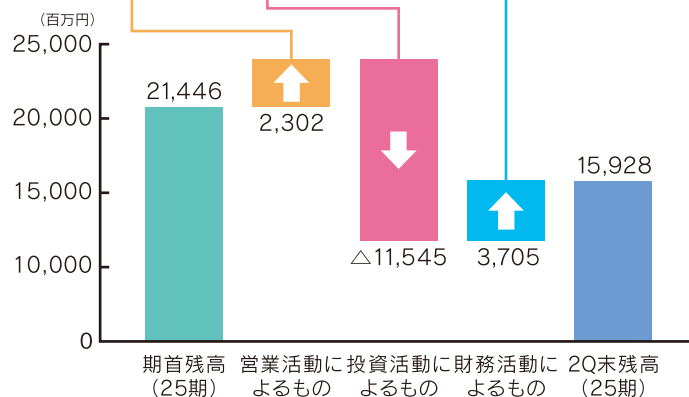
## 連結キャッシュ・フロー推移グラフ

### ●主な増減要因

- 税金等調整前当期純利益 12,419
- たな卸資産増加 △2,894
- 法人税等支払 △4,661

- 有形固定資産取得 △4,071
- 関係会社株式の取得 △6,832
- 敷金保証金差入 △1,082

- 長期借入による収入 5,000
- 配当金支払 △1,280



※上記のキャッシュ・フロー区分のほかに、現金及び現金同等物に係る換算差額19百万円がありますが、グラフの記載は省略しております。

### ポイント解説

#### ●連結損益計算書関係

※当第2四半期までの連結売上総利益率は、前期より0.4ポイント改善し、57.1%となりました。レディースやレザーカジュアルの好調により、国内の自社商品比率が44.6%と高めだったこと、また第1四半期にプロパー価格での販売が好調だったことによるものです。

※連結販管費は、前期比1.6%ポイント増の35.2%となりました。広告宣伝費は、チラシを減らし、新聞や雑誌の出稿を増やすなど使用媒体の見直しを進めたことにより、売上高構成比は前期比横ばいの3.9%となりました。人件費は出店の増加により大目の採用を進めたことにより前期比で0.7ポイント増の12.8%、地代家賃はショッピングセンターなど売上歩合の店舗の割

合が増えていることもあり前期比0.7ポイント増の9.2%となりました。

※当社の個別業績については、売上高は営業収入を含め前期比12.8%増の501億78百万円、営業利益は9.2%増の112億18百万円、経常利益は9.1%増の114億89百万円、当期純利益は8.6%増の65億2百万円となりました。

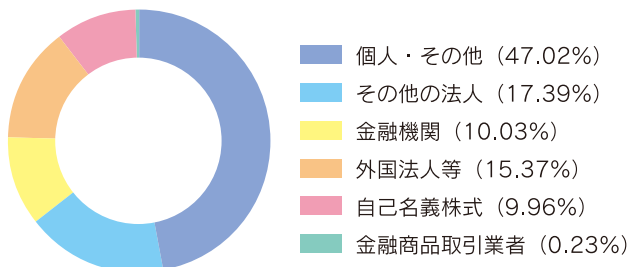
※韓国子会社ABC-MART KOREAの業績については、WONベースでの売上高は前期比約4割増、営業利益は前期比6.1%増の93億55百万ウォンの増収増益となりました。円ベースでの売上高は前年同期末に比べ3割程のウォン安が進んだため、前期比0.8%増の46億73百万円、営業利益は前期比21.8%減の7億2百万円となりました。

発行可能株式総数	334,500,000株
発行済株式総数	83,627,318株
自己株式数	8,332,828株
単元株式数	100株
株主数	5,824名

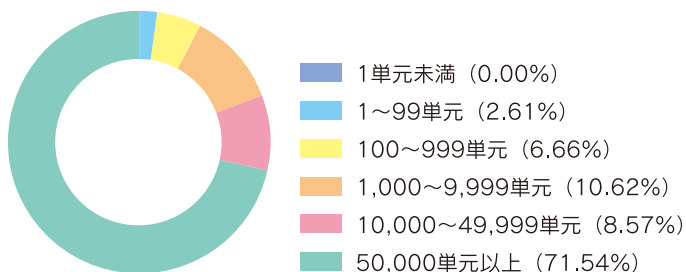
## 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
三木 正浩	24,480,000	29.3
株式会社イーエム・プランニング	14,428,400	17.3
三木 美智子	12,584,000	15.0
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,894,200	3.5
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,840,000	3.4
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニバス アカウント	1,435,503	1.7
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	909,800	1.1
ハイアツト	780,000	0.9
資産管理サービス信託銀行株式会社(年金特金口)	647,400	0.8
ミレニアム	589,100	0.7

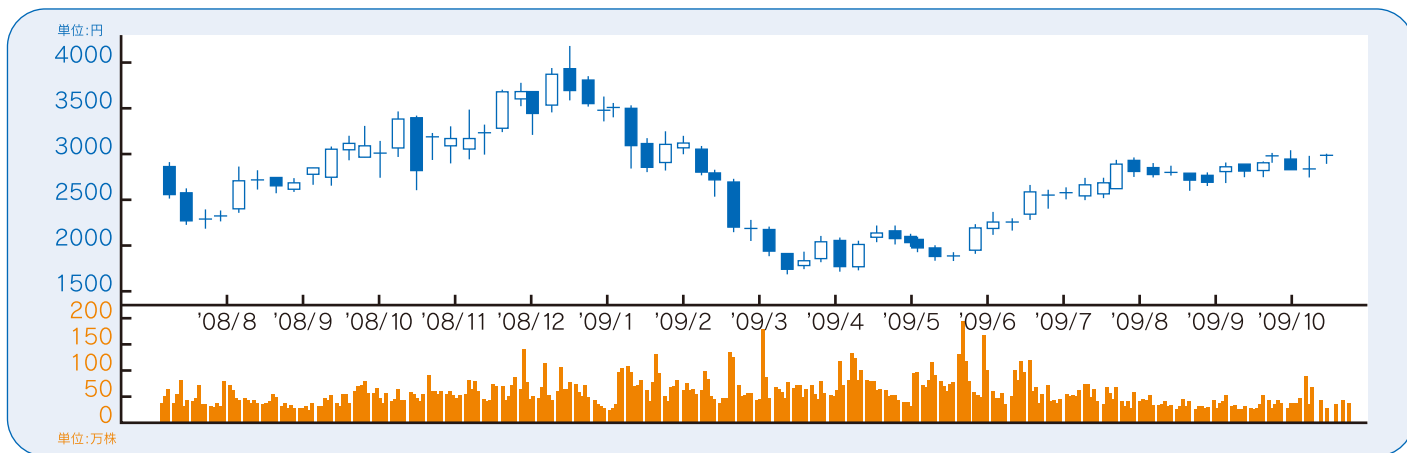
## ●所有者別株式分布状況



## ●所有株式数別株式分布状況



## ●株価チャート・出来高推移グラフ



## 会社の概要

社名	株式会社エービーシー・マート
本店所在地	東京都渋谷区神南一丁目11番5号（登記上の住所）
設立	1985年6月6日
資本金	34億8,293万円
従業員数	4,479名（うち契約社員1名、アルバイト2,320名）
事業内容	靴・衣料・雑貨などの小売 靴の商品企画および輸入販売 各種ブランドのライセンス事業
事業所	[本社] 東京都渋谷区 [店舗] 北海道17、東北25、関東221、中部65、関西59、 中国・四国28、九州・沖縄66 計481店舗
取引銀行	みずほ銀行/三菱東京UFJ銀行 三井住友銀行/りそな銀行
主な関連会社	ABC-MART KOREA, INC.
URL	<a href="http://www.abc-mart.com">http://www.abc-mart.com</a>

## 役員

代表取締役社長	野口 実
専務取締役	中尾 徹
常務取締役	吉田 幸枝
取締役	金城 正宏
取締役	勝沼 清
取締役	小島 穰
取締役	菊池 孝
監査役（常勤）	秋元 英夫
監査役	林 豊
監査役	上原 敬三

## お知らせ

### ●株主優待

毎年2月末日現在の株主および  
実質株主に対し、優待券を年1回、  
以下の基準により贈呈いたします。



贈呈基準 / 所有株式数100株(1単元)以上300株未満保有の株主様に対し、  
3,000円(1,000円割引券3枚)、300株以上保有の株主様に対し、  
5,000円(1,000円割引券5枚)の当社優待券を贈呈いたします。

利用方法 / お買物金額（税込）5,000円毎に1枚ご使用いただけます。1回のお買物につき、最大5枚まで使用可。ただし、他の割引券等との併用はできません。

有効期限 / 翌年2月末日まで有効

取扱店舗 / 「ABC-MART」、「GALLOP」、「NUOVO」、「コルノナポレオーネ」、「HAWKINS」、「VANS」各アウトレットおよび「WORLD SPORTS PLAZA」の国内における全店舗

### ●ABC-MARTのネット通販

アクセスは  
**[www.abc-mart.net](http://www.abc-mart.net)へ!**  
(24時間OPEN)



### ●IRサイトのご案内

投資家の皆様に正確な情報を迅速にご提供し、当社の現況や将来のビジョンをご理解いただくために、IRサイトを開設しています。連結業績や決算資料のみならず、当社の成長戦略についてもご覧いただけます。



URL:<http://www.abc-mart.com>  
の「>企業・IR」から

## 株主メモ

事業年度	3月1日～翌年2月末日
期末配当金受領株主 確定日	2月末日
中間配当金受領株主 確定日	8月31日
単元株式数	100株
定時株主総会	毎年5月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL / 0120-232-711(通話料無料) URL / <a href="http://www.tr.mufg.jp/daikou/">http://www.tr.mufg.jp/daikou/</a>
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第1部(証券コード 2670)
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL / <a href="http://www.abc-mart.com">http://www.abc-mart.com</a> (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

### 【ご注意】

- 1.株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に記録された株主に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式会社エービーシー・マート

〒150-0043

東京都渋谷区道玄坂一丁目12番1号 渋谷マークシティ ウエスト19階

TEL:03-3476-5452 / FAX:03-3476-5462

<http://www.abc-mart.com>